

平成30年度 第4回 行政改革推進委員会 会議録

| | |
|-------|--|
| 開催日時 | 平成30年10月23日（火曜日） 開会・午後1時25分 閉会・午後3時00分 |
| 開催場所 | 上湧別コミュニティセンター 2階会議室 |
| 出席委員等 | 北村会長、高桑職務代理者、菊地・小林・野田・宮澤・森委員 |
| 欠席委員等 | 高橋・松浦委員 |
| 職員 | 総務課：濱本課長、企画財政課：佐藤課長、猪熊参事、斉藤主幹 |
| 議題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. あいさつ 3. 確認事項 (1) 第3回 行政改革推進委員会会議録の確認について 4. 議 題 (1) 平成30年度 行政評価・外部評価について (2) 湧別町公共施設再配置実行計画（案）について (3) 湧別町定員管理適正化計画について（職員数の推移） 5. その他 (1) 次回の会議日程について 6. 閉 会 |
| 会議の公開 | 公開 |
| 傍聴人の数 | 0名 |
| 提出資料 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度 第4回 行政改革推進委員会議案 (2) 平成30年度 第3回 行政改革推進委員会会議録 (3) 平成30年度 事務事業調書（外部評価用） ※配布済み (4) 平成30年度 事務事業調書説明資料（外部評価用） ※配布済み (3) 湧別町公共施設再配置実行計画（案） ※配布済み |

1. 開 会

佐藤課長が会議の開会を宣言し、委員の過半数以上が出席しているため、委員会の成立を確認した。

2. 会長あいさつ

北村会長) お忙しい時間帯にご出席いただき、ありがとうございます。行政改革推進委員会の進行状況ですが、本日の会議で行政評価に関しては最後まで進めると思っています。皆さんから忌憚のないご意見をいただきながら、会議を進めたいので、よろしくお願いいたします。

3. 確認事項

(1) 第3回 行政改革推進委員会会議録の確認について

北村会長から会議録の記載内容について、各委員に確認したところ修正がないことを確認した。

4. 議 題

(1) 平成30年度 行政評価・外部評価について

第3回の会議に引き続き、NO. 18の「ふるさと会補助金」から評価事務を行うこととし、事業ごとに担当課長から資料の説明を行った。

■ふるさと会（補助金）（総務課・濱本課長説明）

【意見及び質問】

- ふるさと会の補助金について、単に湧別町出身者の会員が集まって交流しているのであれば、意味がないと思い、どういう形で本町の振興・発展につながっているのか知りたくて質問しています。ふるさと会と町のつながりを説明してもらいましたので、内容は理解できましたが、東京、札幌以外、他の地域からのニーズはないのでしょうか。
⇒ 他の地域からのニーズはありません。札幌湧別会は、昨年、上湧別会と湧別会が統合して、現在の湧別会となっています。（総務課長）
- 関西や九州などで活躍している湧別出身の方がそれぞれ人脈をつくられていると思うので、町として、そのような方々の協力を得て、町の情報発信するような考え方を持って、ふるさと会の活動がない地域へのアクションを起こしてはどうか。
⇒ アクションは起こしていない。（総務課長）
- 少子高齢化で会員数が減少して今後の活動に色々な支障があると思うが、両ふるさと会とも会員数の減少などが心配されると思うが、会員数はそれぞれ何名ぐらいでしょうか。
⇒ 会員それぞれ年齢を重ねていき、若い世代の入会がないのが現状と思います。

東京湧別会には昨年3名の入会があったようです。会員数ですが、札幌が120人で、東京が70人ほどになっています。(総務課長)

○ 湧別町出身、湧別にゆかりのある方々で組織していますが、もし私が東京へ転居したときに、ふるさと会に入会することは可能でしょうか。

⇒ 入会は可能と思います。(総務課長)

○ ふるさと会の活動を通じて、ふるさと湧別の発展のための情報発信、還元しているのですが、東京や札幌に学業や仕事で行った方には入会してもらってふるさとを盛り上げて欲しいので、入会やふるさと会の活動を町民に対してピーアールすることも必要とも感じる。

○ 湧別のために活動してくれているのであれば、是非、その活動を町民に積極的にピーアールして欲しいし、東京、札幌以外にも同じような団体をつくって、ふるさとを盛り上げる活動をすれば、町としても支援することになると思うので、そのようなことをお願いしたいと思います。

【外部評価の判定】

2. 現状維持とする。

■地域おこし協力隊事業（企画財政課・佐藤課長説明）

【意見及び質問】

なし

【外部評価の判定】

2. 現状維持とする。

■定住促進住宅・中古住宅購入事業（企画財政課・佐藤課長説明）

【意見及び質問】

○ 資料の説明を受けて、施策の成果が少しずつ表れていると感じている。資料にある平成29年度の転入者は「ゼロ」ですが、30年度には実績があるということなので、来年この事業が評価対象になれば、2年分の実績があれば成果がわかりやすいのではないかと思います。

【外部評価の判定】

2. 現状維持とする。

■地域づくり振興事業（企画財政課・佐藤課長説明）

【意見及び質問】

- 制度の定期的な周知は行っていないようですが、川西自治会で記念誌を作成するようで、この補助を受けられることが知られていなかったようなので、周知が必要と思います。また地域づくりに関する補助制度なので、お祭りや自治会の設備の保全も大切ですが、子どもたちの思い出づくりができるような振興策ができればと思います。
- 課長の説明にあったように、防災に関する補助メニューを加えてはどうかと思います。震災に伴う停電の際、携帯電話の充電をTOMなどで行えたのですが、地域会館に整備するとか、今の時代にあった補助制度に検討してもらえればと思います。
- 自治会連合会の視察研修で、千歳市に行ったときの話ですが、千歳市では各地区の会館に発電機が設置されているのですが、燃料を保管する設備がなかったため、停電時には1台も使用できなかったと話されていました。発電機を整備するのであれば、タンクなどの附帯設備も必要と思います。

【外部評価の判定】

- 3. 改善とする。

北村委員長）以上で、平成30年度の外部評価は全て終了いたしました。今日まで3回の会議を行ってきました。最終的に評価の結果を町長へ答申しなくてはなりませんので、事務局に答申の内容や附帯意見をまとめていただき、次回の会議で確認したいと存じます。

(3) 湧別町公共施設再配置実行計画（案）について

議案に基づき、猪熊企画財政課参事が説明する。

北村委員長）前回の会議で資料の説明を受けていますので、皆さんからご意見を伺いたいと思います。

【主な意見等】

- 湧別庁舎は耐震改修工事が必要で、大きなお金が必要を聞きます。そうになると、庁舎の問題についての答えが導き出される気がする。資料でも本庁方式に移行するようですが、どちらを使うのが最終的な結論になると思うし、現在は上湧別が本庁舎となっているので、湧別庁舎は閉鎖になると個人的には考えますが、耐震改修工事に要する費用はどの程度ですか。
- ⇒ 計画書の8ページにあるように、湧別庁舎と第2庁舎を合わせて1億7千万になります。もとの数字は平成26年に試算していますが、工事費の高騰を考慮し概算の数字を見込んでいます。庁舎の問題は町民の皆さんの意見を伺いながら、決めるということで資料のような表現にしています。(企画財政課参事)

- 前回の会議が終わった後、同僚委員と話したのですが、文化センターTOMにある漫画美術館は閉鎖されるようで、TOMの地下には膨大な資料があります。10年間やったオホーツク漫画大賞に応募されてきた作品が保管されていて、膨大な資料はどうなるのだろうと思いますし、今後、その作品の扱いはTOMの活用にかかっています、漫画大賞にかかわってきたものとしては作品を宝と思っています。あの作品の中には、有名な方がいるかもしれないし、素晴らしい作品が埋もれているかもしれないということを考えると、作品の扱いは難しいと思っています。
- 今年、芭露の秋祭りは雨でしたので、芭露学園の体育館を使わせてもらったようです。畜産研修センターも古くなってきたので、共有することで統合できるのではないかとも思う。
- 湧別町は合併町なので、同じような施設が二つある。二つある施設をひとつにするのであれば、どの時点かで壊さなくてはならないと思うし、どちらかを残すかどうかは議論が必要ですが、普通に考えれば古い方から、費用のかかる方から壊すことになると思う。
- この計画では文化センターそれぞれの機能を考えて、さざ波を文化施設として残して、TOMを他の用途に使うと説明された。ただ図書館には5年間の執行猶予があるということでしょうか。
- 地域会館は地元への譲渡を考えているようですが、地域と町の考え方が一致しないとき、その場合の対応は検討していますか。
 - ⇒ 資料の13ページに地域会館の取り扱いを記載していて、自治会長会議で確認された事項であって、その方針に沿って計画の案を作っています。施設の耐用年数を迎えると、建て替えや大きな修繕が必要になってくるので、その時点で存続を検討して、自治会へ移管することが考えられ、自治会として受けられないということであれば、取り壊すすることも考えられます。そのほか地域の拠点施設は役場として管理していくことになります。(企画財政課参事)
- さざ波を建てた時、素晴らしい施設で音響やピアノにお金を掛けて建設したが、これからも機能を維持していくということで、やはり多目的に使うと機能は落ちる。約20年前に文化センターを建てたので湧別は文化活動に理解があって、いまでは大きな財産になっている。
- 計画の全体通して委員会としては協力していくという雰囲気でしょうか。
 - ⇒ 来月から始まるまちづくり懇談会で町民に対して説明をします。資料は4ページくらいのダイジェスト版で、希望する方には本編を渡したいと思っています。(企画財政課参事)
- 計画書はホームページに掲載しますか。計画の見所、庁舎や体育館など町民の関心が高い事項などの表示の仕方を工夫すると良いと思います。
 - ⇒ ホームページには計画が決定してから掲載します。この計画は40年の計画であって、懇談会では第1期の10年間について説明します。(企画財政課参事)

- この計画では保育所や幼稚園の詳細について触れられているのでしょうか。上湧別保育所の建設が一年延期されたと聞きますが。
⇒ 具体的なことは示していない。(企画財政課参事)
- 合併効果を表すためにも、協力していきたいです。

北村委員長) 委員会として意見が出尽くしたようです。以上で、この議題については終わりたいと思います。

(3) 湧別町定員管理適正化計画について(職員数の推移)

議案に基づき、濱本総務課長が説明する。

北村委員長) 説明を受けましたが、職員の定数や給与関係は広報ゆうべつの9月号に詳しく掲載されていますので、そちらも参考にさせていただきたいと思います。それではご意見を伺います。

【主な意見等】

- 認定子ども園になったとしたら、保育士の身分はどうなりますか。
⇒ 認定子ども園の運営方式は何通りかあります。保育所に幼稚園を加味した運営となれば、両方の免許が必要となりますが、最近、採用された保育士は両方の免許を持っているようです。入所児の数によって職員の配置基準が定められていて、それに従い、保育士を配置することになりますが、本町の保育士は正職員と臨時職員がいますので、その辺も考慮しなくてはなりません。(総務課長)
- 幼稚園の機能を持たせる子ども園にすることが前提にあるわけですか。担当はどちらになるのですか。
⇒ 本町には民間の幼稚園があります。仮に統合を考えるとすれば、保育所に幼稚園機能をもたせることとなります。ひとつの建物でそれぞれの機能を持つことは可能ですが、本町でどうするのかは具体化されていません。担当部署は子育て支援課になります。(総務課長)

北村委員長) 以上で、この議題は終わりたいと思います。

5. その他

(1) 次回会議日程について

協議の結果、11月22日(木)の午後1時30分から開催することとした。

6. 閉会